

しろやま



病院理念

城山病院は患者さまのために存在します

2023年11月号
医療法人春秋会 城山病院
大阪府羽曳野市はびきの2-8-1
TEL 072-958-1000
編集・発行 情報システム課

Vol. 77



SPECIAL

認知症危険因子3分の1は予防可能です



脳・脊髄・神経センター
センター長
島野 裕史 医師

国際アルツハイマー病協会(ADI)と世界保健機構(WHO)は9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓蒙が行われました。また、認知症の進行を遅らす従来の薬に加えて、発症を抑える新薬も承認されました。認知症は中年期からの予防で抑えることができます。島野医師に話を聞きました。

認知症は誰もが関わる可能性がある

高齢化に伴い認知症の高齢者の数は増え続け、団塊世代が75歳以上になる2025年には現在の1.5倍の700万人になり、65歳以上の5人に1人に達する見込みと厚生労働省は発表しており、もはや誰でもが関わる可能性のある病気と言えます。

今年8月に認知症の原因の約60%を占めるアルツハイマー病の新薬「レカネマブ」が厚生労働省に承認されました。脳にたまって神経細胞を破壊する異常たんぱく質を取り除く薬で、軽度認知症の進行抑制に効果が期待できます。

しかし、認知症は60代までの予防で回避できることがわかっています。今日はこのことを中心にお話します。

危険因子を知り、予防する

2017年に英国の医学誌「ランセット」とロックフェラー財団の共同委員会(ランセット委員会)は、認知症の3分の1は予防可能と発表しました。世代別に存在する12の潜在的危険因子の割合を次に挙げます。これらの予防に取り組むことで合計35%の危険因子を防げることになります。このように、60代からの生活の仕方が重要です。高血圧や糖尿病等の生活習慣病を防ぎ、難聴等聴覚障害があれば補聴器などで対応すること、そし

て家族以外の人とのコミュニケーションを作ることが大切です。薬を服用しても家に閉じこもってはいけません。例えば自治体等が主催する教室に参加したり、退職後にシルバー人材センターで仕事をするのもいいかもしれません。独居の場合や、他人とコミュニケーションをとるのが苦手な方は注意が必要です。

手術で治る認知症「正常圧水頭症」について

頭蓋内に過剰に脳脊髄液(髄液)が貯まり、脳が圧迫されるのが水頭症で、頭蓋内圧が高まるものと、そうでないものがありますが、認知症に関わるのは頭蓋内圧が高まらない正常圧水頭症です。症状は認知機能低下(物忘れ、意欲低下、表情が乏しい等)と歩行障害(小刻み歩行、開脚歩行、すり足歩行、最初の1歩が出ない、うまく止まれない、転倒しやすい等)、尿失禁等です。

検査はCTやMRIで脳室拡大を調べ、疑われる場合は腰椎から髄液を少量排出し症状が改善するかを調べます(髄液タップテスト)。改善がみられたら髄液を腰椎から腹腔に排出するシャント術を行います。経路に障害がある場合は脳室から腹腔に排出する方法をとりませんが、どちらも皮下に圧可変式バルブを留置し症状に合わせて体外からバルブ圧を調整できます。手術は1週間の入院が必要ですが、術後翌日から歩行できます。最後に、他の疾患と同様に認知症も早期発見が重要です。「あれ?」と思ったら専門医を受診し、しっかり検査することをお勧めします。

予防可能な12の認知症危険因子

若年期	晩年期
・教育不足 7%	・喫煙 5%
中年期	・うつ病 4%
・難聴 9%	・社会的孤立 4%
・高血圧 2%	・運動不足 2%
・外傷性脳挫傷 3%	・糖尿病 1%
・過度のアルコール摂取 1%	・大気汚染 2%
・肥満 1%	

脳・脊髄・神経センター外来のご案内

当センターでは脳神経外科、脳血管内治療科、脳神経内科、リハビリテーション科がそれぞれ長所を生かしつつ協力して治療にあたっています。24時間365日専門の医師が病院に待機しており、緊急のMRI検査、手術に対応可能です。

また、ガンマナイフ治療や脳卒中予防のための脳ドックも行っています。

脳疾患は、早期リハビリテーションが重要であり入院時から看護師・栄養士・リハビリスタッフ・MSW(医療相談員)と専門のチームで対応を行っています。

対象疾患は、脳血管障害・脳腫瘍だけでなく三叉神経痛や正常圧水頭症・めまい・頭痛にも対応しております。

ご心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。



検診の御案内

がん検診:PET-CT ~ 低侵襲/早期にがんを発見します ~

2023年5月にGE社製「Discovery IQ 2.0」を導入しました。

以前のPET-CT装置に比べて画像の質が向上し、撮影時間も短縮されました。がん細胞は正常細胞と比べて、たくさんのブドウ糖を細胞内に取り込む性質があります。PET検査ではブドウ糖に放射線を出す元素を組み合わせた「FDG」という薬剤を注射した後、「FDG」が通常より多く集まっている細胞(がん細胞)があるか無いかを全身を通して画像化して調べる検査です。

全身のがん探索および転移探索や病期判定、治療経過判定等には有用な検査です。(ほとんどが保険診療可能です)

また、最近では健康診断での血液検査や検診(市販等)のみで「陽性判定」や「要精密検査」の結果が出た方に対して、全身一度にがんの有無をスクリーニングできる二次検査としてもPETは有効活用されています。(自由診療となります)

予約申し込み:072-958-1000

「PET-CT検診申し込み」



しろやま健康教室を開催しました。

9月28日城山病院で、患者様向けに健康教室を開催しました。第1部は、整形外科 米井先生による腰の痛みについてです。生活を送るうえで伴う腰の痛みはどこが原因か、気を付けることなどお話しされました。

第2部は、理学療法士 赤松さんによる日常でできる体の運動です。理学療法士の皆さんに教えてもらいながら一緒に運動をし、日頃から体を動かす大切さを学びました。



城山病院 災害対策訓練の実施

9月23日に城山病院で災害対策訓練訓練を行いました。今回の訓練は、近隣の医療機関や羽曳野市役所などと協力して行い、美原看護学生の皆様にも参加して頂き臨場感のある訓練となりました。普段から市役所や近隣の医療従事者の方と連携・協力することで、羽曳野市災害医療センターとして災害にしっかりと備え、努力しています。



勉強会のお知らせ

医療従事者向け

しろやまハイブリット研修会の会場はZOOMでの開催となります。

当院の新人教育の取り組みについて

日程:2023年11月7日(火) 17:30~18:15

ミーティングID:811 2819 1227

パスコード:589581

ZOOM参加
QRコード



廃用症候群の予防とケア ~『寝たきりなので』とあきらめないで~

日程:2023年11月22日(水) 17:30~18:15

ミーティングID:830 0167 6625

パスコード:939456

ZOOM参加
QRコード



事例検討を通じて学ぶ理学療法士の思考

日程:2023年12月1日(金) 17:45~19:00

ミーティングID:822 0092 8517

パスコード:266990

ZOOM参加
QRコード



Free Wi-Fiサービスを導入しました。

城山病院では、患者サービスの一環として、外来、病棟エリアにインターネットが利用できるようにFree Wifiサービスを導入しました。病院内の掲示版にSSIDとパスワードを掲載させて頂いておりますので、利用される方は、必ず注意事項を良くお読み頂いてからお使いください。

Free Wi-Fi

Supported by docomo



掲示版・エレベーター横などに掲示しています。